様式第９－４号

福祉サービス利用援助契約変更契約書

利用者○○（以下「利用者」という）と○○社会福祉協議会（以下「(市町村社協)」という）は、●●○○年○○月○○日付けで締結した福祉サービス利用援助契約の一部を次のように変更する契約を締結します。

第１条　福祉サービス利用援助契約書第９条を次のとおり変更します。

（変更後）

第９条

① 利用者は、(市町村社協）に対して、次の通帳・証書類（カードをふくみます）やはんこを預けることができます。預かる場合、利用者と（市町村社協）は「預かり書」をつくります。

(1) 年金証書
(2) 預貯金の通帳
(3) 権利証
(4) 契約書類
(5) 保険証書
(6) 実印や銀行印
(7) そのほか、(市町村社協）が適当と認めた書類（カードをふくみます）

② 利用者は、いつでも預けた通帳・証書類やはんこを返してもらうことができます。

③ この契約が終わったときは、(市町村社協）による保管も終わります。ただし、受取人がいないなどの理由により、やむを得ず通帳・証書類やはんこを預かり続けることとなった場合、(市町村社協）は、契約終了後 10 年を経過した後、大阪府社会福祉協議会の同意を得てそれらのものを廃棄することができるものとします。

④また、この契約が終了した後も返却の申し出がないため保管している公的書類については、関係公的機関に随時引き渡すことができます。

第２条　前条の変更は、●●○○年○月○日から有効とします。

第３条　この契約に記載のない事項は全て福祉サービス利用援助契約の定めるところによります。

この契約が成立したことを明らかにしておくために、この契約書を 2 通つくり、利用者、（市町村社協）のそれぞれが 1 通ずつもちます。また、(市町村社協）は、この契約の写しを大阪府社会福祉協議会に送ります。

●●　　年　　月　　日

利用者
住所
氏名　　印

市町村社協
住所
名称
会長　　印
電話番号